

# 動き出した （仮称）入江地区 広域センタービル

北海道（以下「道」）が入江地区への胆振支庁移転改築を決定してから9年。平成18年2月に北海道知事から（仮称）入江地区広域センタービルへの胆振支庁入居表明があり、11月末に建設事業などを行う株式会社設立されるなど、平成20年8月の完成に向けて動き出した（仮称）入江地区広域センタービルについてお知らせします。



（写真：北海道新聞社提供）



**8月に工事が着工し  
平成20年8月にビルが完成予定**

平成9年に、道は入江地区への胆振支庁移転改築を決定し、その後、道による地盤調査や土地開発公社による用地先行取得を行ってきました。しかし、道の財政事情などで事業が進展しないことから、市や市議会、市内企業が胆振支庁合同庁舎早期改築期成会を設立し、平成17年3月に賃貸方式での移転を道に提案。

平成18年2月、道が家賃を支払って入居する賃貸方式の提案に対し、北海道知事から（仮称）入江地区広域センタービルへの胆振支庁の入居表明があり、同年11月末に、市や室蘭商工会議所、市内企業、金融機関が資本金9千万円を出資し、ビルの建設から管理運営を行う「むろらん広域センタービル株式会社」を設立しました。今後は、平成19年8月ごろに建設工事を着工し、平成20年8月に完成、入居を予定しています。

**市民や市内企業などが参加した  
オール室蘭による事業の実施を**

建設事業については、「むろらん広域センタービル株式会社」が実施します。資金は約半分を金融機関から借り入れ、残りは社債を発行し、市内企業などから資金を集めます。また、市民が購入できる住民参加型市場公募債「らんらん債」を通じ、市から借り入れるなど、オール室蘭による事業実施を目指します。

**利便性の向上や  
経済活性化のきっかけに**

建設事業の効果としては、社会保険事務所などの国の機関が集積する入江地区に、道や市、金融機関、民間企業の約750人が勤務する（仮称）入江地区広域センタービルが建設されることで、利便性が向上されます。また中央区のまちづくりの進展や経済活性化が図られます。

## （仮称）入江地区 広域センタービルの概要

場所 海岸町1丁目（旧室蘭駅舎横）  
面積 約20,000平方メートル  
構造 鉄骨造4階建（延べ床面積約14,500平方メートル）  
入居予定 道（胆振支庁、胆振教育局）、市（サービスセンター、課税課、納税課、保険年金課）、民間企業（室蘭商工会議所、北洋銀行、室蘭信用金庫、ナラサキ産業㈱）

4階	道 2,544m <sup>2</sup>		共用施設 549m <sup>2</sup>
3階	道 2,657m <sup>2</sup>		共用施設 436m <sup>2</sup>
2階	道 1,816m <sup>2</sup>	民間 531m <sup>2</sup>	共用施設 508m <sup>2</sup>
1階	道 1,083m <sup>2</sup>	市 1,210m <sup>2</sup>	民間 1,595m <sup>2</sup>
			共用施設 1,340m <sup>2</sup>

※共用施設は廊下や階段などです。

《詳細》企画財政部広域センタービル推進担当 ☎2181